



活動報告書

「イバラトミヨの増殖のための小川と池の造成と環境整備」

イバラトミヨ・水芭蕉の会

氷河期の遺存種とも言われるイバラトミヨは、圃場整備事業等により絶滅の危機にある。新潟県でも県北部の数カ所しか生息が確認されていない状況にあり、この活動報告書は、この種の保全のため、新潟県北蒲原郡中条町大字江尻字川端において、イバラトミヨの生息環境整備に取り組んだ活動についての報告である。

イバラトミヨは、トゲウオ科の魚で、体長5・前後。水中の水草や木の枝などに球形の巣を作り卵を産む。北海道、東北、北陸地方を中心に分布し、湧き水などの清流を好む。

イバラトミヨ・水芭蕉の会は、1992年から新潟県北蒲原郡中条町を中心にこの種の保全活動に取り組むとともに、イバラトミヨの県・天然記念物指定、水芭蕉指定地周辺の公園化構想を提唱している。

活動報告書から抜粋して活動内容等を報告します。

〔活動の状況〕

時系列で活動状況・内容を示すと、次の通りです。

- | | |
|--------|---|
| | ・ 清秋の小川観察会 |
| 10月21日 | 1.小川の観察会、2.休耕田を荒らさないためのナノハナの種蒔き、3.小川の護岸整備と周辺の草刈り、4.新たな池と旧池水路の掘削 |
| | ・ 整備作業(会員のみ) |
| 10月29日 | 1.旧大出小学校跡地の増殖池周辺の草刈り、2.新設池、小川周辺の草刈り、3.小川の護岸整備 |
| | ・ 収穫作業 |
| 12月 9日 | 春に植えたセリの収穫 |
| | ・ 水芭蕉の植栽 |
| 3月17日 | 水芭蕉の苗を植栽 |
| | ・ 春の小川観察会 |
| 4月21日 | 1.小川の掘削と護岸整備、2.小川の観察会、3.周辺の草刈り、4.水棲動物の標本作り、5.増殖池の草刈り
イバラトミヨの稚魚放流会と木のテーブル作り |
| 6月 9日 | 1.イバラトミヨの稚魚放流、2.病害虫防護のための周辺の草刈り、3.水棲動物の標本作り、4.小川の観察会、5.観察会及び休憩用テーブルづくり |
| 7月28日 | ・ 湧き水の小川観察会 |

1.小川の観察会、2.水棲動物の標本作り、3.病害虫防護のための周辺の草刈り、4.水草の採取と植栽及び水芭蕉の植栽

8月5日

・整備作業(会員もの)
旧大出小学校跡地の増殖池の草刈り

【活動の成果】

1. 今回の環境整備活動に取り組んだのは次の4団体、活動に従事した人数は延べ255人

(会員149、一般106)であった。

○活動に取り組んだ団体：イバラトミヨ水芭蕉の会、(社)中条青年会議所、マリンピア日本海、五泉トゲソの会

2. イバラトミヨの環境整備のため、次のように既存の小川を改修し、休耕田に小さな池を3つ掘削し、これらの池をつなぐ小川を造り、ミズバショウを植栽した。(下図参照)

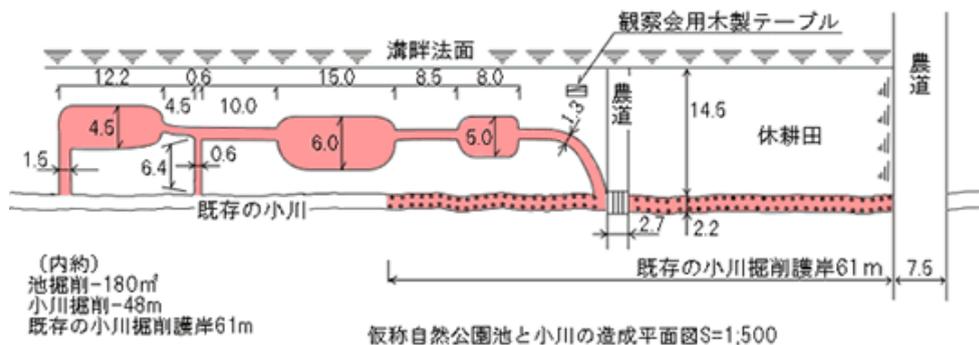
これらの小川、池に水草が育ち、イバトミヨが巣を作り、稚魚が泳ぐ姿を見るには年月を要するが、活動参加者、活動を支援していただいた方々と、その様子を引き続き観察していきたい。

- ・改修(護岸工事)した既存の小川(幅2.2m)の延長◆◆61メートル
- ・新しく掘削した3つの池(幅4.5~6.0m、深さ0.8m)の面積◆180平方メートル
- ・新しく造成した小川(幅0.6~1.5m)の延長◆◆48メートル

【今後の活動等】

自然保護活動は息の長い活動で、今回は、観察会の実施、木のテーブルづくりなどを取り入れて活動を展開したが、今後も目先の変わった手法を取り入れて地域住民を巻き込みながら一つ一つを積み重ねながらやっていきたい。

ミズバショウ指定地周辺の公有化後の環境整備計画及び維持管理計画の策定に着手していきたいと思っている。



[閉じる]